

総合工学委員会 エネルギーと科学技術に関する分科会
カーボンニュートラル実現に向けた熱エネルギー有効利用小委員会（第 26 期・第 2 回）
議事要旨

1. 日 時 令和 6 年 10 月 1 日（火）10：00～12：00
2. 会 場 遠隔会議
3. 出席者 北川尚美、高田保之、青柳みどり、木村誠一郎、古山通久、高瀬香絵、能村貴宏、
福島康裕、藤岡恵子、宮崎久美子

4. 議 題

- 1) 前回議事要旨確認
- 2) 前回の議論を踏まえた今後の活動について
- 3) 意思の表出についての論題提起（古山委員）
- 4) 意思の表出についての論題提起（青柳委員）
- 5) シンポジウム開催について
- 6) その他

5. 配布資料

- 1) 前回議事要旨
- 2) 第 25 期「報告」査読案（2023 年 6 月 23 日、分科会へ提出版）

6. 議 事

1) 前回議事要旨確認

第 1 回小委員会の議事要旨が確認された。

2) 今期の活動について

藤岡委員より、前期の「報告」案の概要と作成・審議の過程が説明され、各項の内容を発展・融合させるべく議論を続けて行くことが提案された。

3) 意思の表出についての論題提起

古山委員より、現在のエネルギー情勢、排出ゼロ技術オプションの導入量・価格推移、代替不可性からの技術評価、現状から将来を予測することのリスク等、温室効果ガス排出実質ゼロに向けて重要と考えられる視点が提案され、発電原価、熱利用に関わるコスト、様々な脱炭素技術と熱との関わり等について意見が交わされた。

4) 意思の表出についての論題提起

青柳委員より、エネルギー民主主義の概念とそれが登場した背景と経過、イノベーション政策のフレームワークの中での熱利用の位置等、熱利用技術・システムの社会実装を社会経済的に評価する観点についての提案があり、ガバナンスやエネルギー政策への市民の参加等について意見が交わされた。

5) シンポジウム開催

開催時期と構成について、引き続き検討することとなった。

6) その他

次回は11月末から12月前半の時期に開催し、意思の表出作成ための論題を持ち寄り議論することとなった。